

学校運営計画 (4月)		総合評価		
学校運営方針	文武両道を校是とし、鍛錬とほめて人格を陶冶し、自律心と豊かな心を持った科学技術創造立国日本の次代を担う創造的・実践的な技術者の育成。			
昨年度の成果と課題	本年度重点目標	具体的目標		
<p>創立121年の輝かしい歴史と伝統を誇る本校は、「質実剛健」「自律」「創造」の校訓の下、「Team FUKKO」一丸となって教育活動に取り組み、15年連続の就職内定率100%の達成や国公立大学11名合格をはじめ、部活動、ものづくり、資格取得等、様々な分野で大きな成果を上げることができた。</p> <p>今年度は、計画的、組織的なキャリア教育の推進と教員の横断的な研修による専門的な知識、技術・技能の更なる向上及び伝承に努め、日本一を目指すに相応しい質の高い教育を展開していく。</p>	<p>規律正しい授業の確立と主体的に学ぶ態度やチャレンジ精神を育成するとともに、鍛えて、ほめて、豊かな創造力と確かな学力を身につけさせる。</p> <p>科学技術創造立国日本の次代を担う、創造的・実践的な技術者としての基礎的知識と技術・技能を習得させるとともに、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育成する。</p> <p>人権尊重を第一に、高い規範意識と自尊感情を有し、人や自然を大切にできる豊かな心を持った福工生を育成する。</p> <p>P T A ・ 工友会や地域との積極的な連携を通して、社会の変化に対応し、社会を支え、共に発展する安全・安心な学校づくりに努める。</p>	<p>授業規律の確立、資格取得の推進及び学ぶ意義や大切さ・楽しさを教え、鍛えて、ほめて学習意欲の向上を図る。</p> <p>I C Tを活用したアクティブ・ラーニング型授業等わかる授業を創造するとともに、個に応じた学習指導や家庭学習を推進し、主体的に学ぶ態度と学力の定着を図る。</p> <p>シラバスと授業評価を活用するとともに積極的な授業研究に取り組み、学校全体の教科指導力と授業技術の向上を図る。</p> <p>「福工サクセスプラン」をもとに、教育活動全体を通じて、計画的、組織的なキャリア教育を推進し、生徒の可能性を最大限に伸ばし、個に応じた進路実現を図る。</p> <p>産業人材育成事業を活用して、技術・技能を習得させるとともに国際的な視野を養う教育活動を推進する。</p> <p>5 S「整理・整頓・清掃・清潔・躰」+福工5 S「セイフティ・信頼・作法・省エネ・スマイル」活動と知財教育を推進する。</p> <p>道徳教育と人権教育を充実させ、生徒の規範意識と豊かな心の育成に努める。</p> <p>「燃える福工生、目指せ日本一」のスローガンのもと、生徒の自主的・自発的な生徒会活動、学校行事、部活動及び奉仕活動を推進する。</p> <p>積極的なコミュニケーション等、言語活動の充実と豊かな体験活動を重視した教育活動を推進する。</p> <p>P T A ・ 工友会との連携、休業土曜日の有効活用、積極的な小・中学校への広報活動、学校評議員制度等の効果的活用を図る。</p> <p>安全・安心活動と「ものづくり」を中心に据えた地域貢献活動を推進する。</p> <p>地域の正確な情報を収集するとともに、地域社会に対して目に見える形で学校情報を積極的に発信する。</p>		
	評価項目	具体的目標	具体的方策	評価
	教科指導	鍛えてほめることで学習意欲や学習理解力の向上を図り、自学自習の習慣を定着させる。	得意分野を伸ばし不得意分野を克服できるような教科指導を図る。 自主的・対話的に参加できるような授業の環境づくり等の取組に努める。 教育課程委員会と連携して新学習指導要領を見据えた教育内容に見直す。	
		言語活動や体験活動を重視した授業に積極的に取り組み、学校全体の教科指導力と授業技術の向上を図る。	鍛える、ほめる指導技術に関する研修を推進する。 研修部と連携して、ICTを用いた効果的な授業を推進する。	
	生徒指導	基本的な生活習慣を身に付け、日常生活のモラル・マナーを常に意識させる指導を行い、社会で評価される福工生の育成を行う。また、成人となるにあたっての法律の厳守や防犯意識を向上に努める。	全教職員(基礎基本徹底委員会等)の共通理解のもとに連携を図りながら全教職員で指導にあたる。 地域との連携を通して社会のニーズに即応できる生徒育成を図れる学校行事等を企画する。 社会人を前に自律心に長け豊かな心を持った「自信に満ちたFUKKO生」育成に努める。	
		法律等に基づいた教育相談体制の構築を図り、組織的な極め細やかな生徒指導に努める。	学校生活・いじめアンケートで生徒の実態を把握し、生徒が安心して通学できる学校とする。 日常の生徒の実態を観察し、各学年との連携を図り組織的に問題行動に対処する。 保健部との連携を通じて生徒の諸問題に対応し、生徒の情緒の安定を図る。	
	進路指導	福工サクセスプランに基づき、各学年の進路目標に応じた活動を計画し、将来の社会人・職業人としての素養を養う。生徒の進路意識を高め、自己の適性や希望進路を考慮した進路指導を行い、希望進路を実現する支援を行う。	きめ細やかな進路相談と生徒の特性をいかした就職指導に努め、応募前職場見学を推進することで、就職内定率100%と1次での採用内定率を95%以上を目指す。 進路ガイダンス、インターンシップ、進路講演会、進路学年集会などを通じて生徒一人ひとりの進路意識の高揚を図り、学校生活との繋がりを考えさせる。 公務員希望者に対して継続的な課外補習や模擬テストを行い、学年と連携を取り一人ひとりの学習状況を把握し指導することで合格率向上を図る。	
		「福工サクセスプラン」を基本とし、進学意識を向上させ、計画的・組織的に進学指導を進める。	進路ガイダンスや説明会を充実させ、生徒の進路意識を向上させる。 個人面談を定期的に行い個に応じた進路実現を目指す。情報を教員間で共有し、より適切な進路を生徒に選択させていく。 進学補習を充実させ大学等の入学試験を突破できるように指導する。また、進学後の学習に対応できる学力を確立させる。	
	特別活動・部活動	学校行事を活性化させ、生徒が積極的に参加し成功・感動体験を共有し、所属感や愛校心を持たせる。また、部活動等の活動の活性化を図る。	生徒会長、生徒会執行部、応援リーダーを中心に学校行事を生徒中心で運営する。 高い志をもって努力するリーダーを計画的に育成し、活躍の場を増やす。 部活動加入率90%を目指し、ミスマッチ入部を無くし退部者を防ぐ手立てを講じる。	
	健康・安全指導 環境整備	心と体の健康と安全教育の充実を図る。校内環境の整備と、望ましい生活環境の啓蒙を図る。	健康への意識を向上させるため健康診断の結果を随時知らせ、治療勧告を行い、個別の保健指導を充実させる。また、心の健康相談を実施する。 危機管理マニュアルを周知し、救急時の対応や事後処理等、生徒の安全確保に努める。 校内外の清掃を徹底し日本一美しい学校を目指す。また、地域に愛される学校を目指す。 委員会活動の活性化を図り保健だよりの作成や清掃点検を行うなど、生徒の自己肯定感の向上を目指す指導を行う。	
家庭と地域との 連携・広報活動	地域や保護者との連携を密にし、開かれた学校づくりのため効果的な広報活動を展開する。	中高連携事業や互助会の事務局として、会の円滑な運営と事業の成功を目指す。 学校ホームページや学校案内などを通して、本校の教育活動をわかりやすく紹介する。 P T A活動を通じて保護者と学校との連携を深め、より効果的な教育活動を行えるようにする。		
研究・研修	「わかりやすく、興味を持てる授業」のために、アクティブ・ラーニングやI C T機器の活用に関する研修を積極的に行う。授業アンケートを活用し、生徒のニーズを理解したうえで授業の改善が行える仕組みと環境設定をする。	授業の工夫・改善を図るため、研究授業や公開授業の質を向上させる。 基本研修や校外研修の内容が全職員で共有できる研修を計画する。 研修の内容を整理し、研修の効率化・スリム化を図る。 学務部と連携を図り、「わかりやすく、興味を持てる授業」に関わる研修の運営を行う。		
教育情報	教育活動がより充実できるよう、教育の情報化を推進する。また、ICT機器の利用を促進させる。	校務用パソコン、学事システム、校内ホームページ、校外ホームページの利用促進を図り、積極的に情報発信するとともに、業務の効率化を図る。 重要情報等のセキュリティ管理を徹底する。 電子黒板・タブレット端末・プロジェクターなどICT機器利用促進のための研修会を実施する。		
学校図書館	図書館の充実、広報活動の活性化により、図書館利用の増進とマナー向上を図る。視聴覚機器の円滑な運用と整備・整頓を図る。	書架を充実させる。蔵書の整備、図書選定の見直しを図る。特に新書、及び専門書の充実を図る。 ブックマイレージキャンペーンや読書週間等を通して、図書館や読書活動への関心を高める。 視聴覚機器の活用と整備を進め、視聴覚教室の有効利用と利用時のマナー遵守を促進する。		

人権・同和教育	本年度の人権教育全体計画、年間計画に基づき、全ての教科・領域において生徒一人ひとりに人権尊重に関する知識理解と人権感覚の育成をめざし、学力と進路の保障を全職員で推進する。	人権・同和教育推進委員会を定期的に開催し、各学年、各分掌からの情報を共有し、生徒の状況に応じて関係分掌や機関との連携をとりながら、生徒指導に活かす。			
		特設授業については、人権・同和教育推進委員会において事前に指導内容を検討して、学年でも事前学習を行い授業に臨む。また、評価や反省点を委員会で総括する。			
		教職員が、全ての教育活動において生徒一人ひとりを大切にす環境づくりに配慮する。			
1 学年	チャレンジ精神溢れるいきいきとした学校生活を送ることにより、不徳の精神を涵養し、社会に貢献できる人材たう基礎を身につけさせる。また、ものづくりを通して自己の将来をイメージをさせ、その実現には「学びに向かう力」が必要不可欠であることを認識させる。	個々の能力を最大限に生かして積極的にチャレンジする機会を設け、主体的に活動する生徒の育成を目指す。			
		互いを尊重し、ともに学びあい、ともに伸びゆく集団をつくる。			
		保護者や各分掌との連絡を密にし、学年に関わる職員間での情報と指導目標を共有して生徒の適切な指導にいかす。			
2 学年	技術者として自覚や誇りを持たせ、福工生として創造力豊かな人間性を育成する。	学校行事や資格取得、部活動等に主体的活動を促し、チャンスにチャレンジする勇気と自己肯定感を高めることのできる集団を育成する。			
		中堅学年として役割を理解させ、「TEAM FUKKO」活性化に貢献させる。			
		キャリア教育を推進し、進路意識を高め、知識を蓄え、来年度に向けた準備を整えさせる。			
3 学年	自己表現に備え、福工生としての自覚と誇りを涵養し、自主的・主体的に頭と体と心を鍛えようとする生徒を育成する。	計画的、組織的なキャリア教育を推進し、進路実現に関連付けた行動を心掛けさせる。			
		生徒の自主的・自発的な活動を支援し、最終学年として学校全体の活性化に貢献させる。			
		規範意識と豊かな心の育成に努め、反省と感謝の念を忘れずに謙虚に努力出来る生徒を育成する。			
染織デザイン科	社会人として通用する基本的な生活習慣の確立、基礎的な学力の向上及びキャリア教育の推進を図ると共に授業や資格取得を通して学習方法を取得させ学習意欲の向上を充実させる。	ルールやマナーの大切さを理解させ、行事を通じて責任を持って機敏に行動できる実行力の育成と達成感の経験を通じて意欲向上の充実を図る。			
		個別対応指導を中心に、進路意識の高潮を図り、1次応募による進路内定率100%の実現を目指す。			
		授業を工夫し、興味関心を持たせ、デザイン公募への興味をもたせ応募させ、入選作品の増加を図る。また、資格試験合格率前年度比5%増、色彩検定全員合格と3年連続文部科学大臣賞受賞を目指す。			
建築科	将来、建設業界で技術者として活躍できるように、実践力や応用力を備えた有為な人材育成を目標に3年間を通じた一貫指導で育成する。	授業規律を守る習慣を身につけさせ、提出物の内容や期限を守るように指導を行う。			
		建築製図技術認定試験等の各種資格取得について全員合格を目標に指導を行う。			
		ものづくりコンテスト等や課題研究に取り組む中で、技術の習得や創意・工夫、心を育てる指導を行う。			
機械工学科	工業技術やものづくりに興味・関心を持たせ、進路に対する意識向上を図るとともに、生徒自らが進路を決定していく態度とコミュニケーション能力や社会性を身につけた生徒を育成し就職内定率100%を早期に達成する。	社会人として必要な基礎・基本の指導にともない時間厳守、言葉づかい、挨拶、整理整頓等を徹底する。			
		資格の精選を行いながら取得の目的を明確にし、自己のスキルアップのために積極的に取り組み、ものづくりや技能競技会においても上位入賞を目指す。			
		教員の専門性を高めるとともに、授業担当者間で十分な連携を図り、学力を向上させる。			
工業進学コース	理工系大学に進学する上で必要な基礎学力の習得と学習習慣の定着を図る。また、ものづくりに必要な技術・技能を習得させる。	定期的に進路を考えさせる機会を設け、学習意欲の向上と明確な進路目標決定に努める。			
		特徴である少人数制の授業を生かし、きめ細かな指導を行い希望進路の実現を図る。			
		ものづくりに関する技術や資格の重要性を認識させ、工業人のリーダーとして、さらに研究開発者としての志を育成する。			
情報工学科	生徒が情報化社会で活躍するために、基本的な生活習慣や自己学習力、課題解決力を身に付ける教育活動を充実させ、ものづくりや競技会に情熱をもって取り組む生徒を育成する。	自ら身だしなみを整え、人の話を素直に聞くことができるように指導をする。			
		情報技術の進展に対応した実習教材の開発やICTの活用により、学習意欲を高める指導をする。			
		PC甲子園やIT選手権などの情報に関する競技会に積極的に参加させ、全国大会出場を目指す。			
環境化学科	化学を専門とする技術者としての知識、技術、資格、モラルを身につけさせ、加えて環境保全への関心を持ち、かつ実行する意欲を持つ生徒を育てる。	授業規律の高い次元での徹底を目指すことで、生徒の学習意欲を喚起する。			
		提出物の期限厳守など、卒業後を見通した指導の徹底を図る。			
		実験中の安全指導を徹底し、事故が起こらないように注意を払う。			
電気工学科	生徒が社会で貢献できる電気技術者として自立心と誇り並びに自己の目標を持てるよう日々の教育活動を充実させる。また、何事にも積極的に取り組むことが出来る向上心を持つ生徒を育成する。	電気技術者として必要な基礎学力の定着が図れるようわかる授業を展開し、実習項目の内容や順番等を見直す。			
		生徒の意識を高め、第二種電気工事士の合格率9割を目指す。			
		生徒の進路意識を高揚させ、進路希望の早期決定と100%内定を目指す。			
都市工学科	5S+福工5S活動を積極的に実践する態度を身に付けさせ、社会性やコミュニケーション能力の向上を目指す工業教育に取り組み、自信と誇りを持ち何事にも積極的に挑戦する生徒を育成する。	学ぶ環境をしっかりと整備し、時間厳守や身だしなみ等、基本的な生活習慣を確立させる。			
		聞く力・話す力・考える力の育成を図ると共に、基礎学力の向上を目指し指導に当たる。			
		あらゆる機会を活用し、進路意識を高揚させ、早期進路決定100%内定の実現を目指す。			
電子工学科	基本的な生活習慣を身に付けさせ、電子技術者としての意識や知識・技術を高める共に、自立心と思いやりの心を持った生徒を育成する。	資格取得率の向上を目指し、指導の徹底を図る。更に、ものづくりコンテスト福岡大会の優勝を目指す。			
		創造性を育む知財教育を行い、パテントコンテストに1年生80%以上の応募を目指す。			
		技術者としてのものづくり技術力向上のため、全員が1つ以上の回路を製作する。			
		基礎学力の定着・向上、学ぶ意欲の向上を図り、特殊無線技士の全員合格、工事担任者30名以上の合格を目指す。			